

JR北海道の無人駅「雄信内駅」と「南幌延駅」の廃止受け入れについて

町では、幌延駅を除く5駅(問寒別駅、糠南駅、雄信内駅、南幌延駅、下沼駅)について、令和3年度から維持管理(経費負担)を続けてきたところですが、このたび、令和6年度末をもって、「雄信内駅」及び「南幌延駅」の維持管理を継続しない(駅の廃止を受け入れる)こととし、その旨をJR北海道へ報告しました。

2駅の廃止受け入れ理由は、維持管理を継続した場合、毎年の維持管理経費に加え、令和7年度に次のとおり大規模修繕費用が見込まれるためです。

対象駅	町負担見込額	内容
雄信内駅	300万円程度	駅舎(屋根、外壁、床)の老朽化に伴う修繕費用として、全体工事費800万円程度(概算)のうち、作業員詰所等のスペースを除く駅舎として使用する面積割合に応じた300万円程度
南幌延駅	450万円程度	板張りホーム桁の劣化(鉄筋露出、ひび割れ)の改修費用

なお、これまで町内5駅の維持管理経費として、年間500万円前後の費用負担が発生しており、町外の方からのふるさと納税(「あなたが守る秘境駅プロジェクト・マイステーション運動」)の寄附金を一部財源として活用させていただいているところですが、今後は町内3駅(問寒別駅・糠南駅・下沼駅)の維持管理に要する財源として活用させていただきます。



▶雄信内駅



▶南幌延駅